

クラスだより



目標

自分の要求を言葉やしぐさで表現し、相手に伝わることを喜ぶ

今年になって双子の男の子が入園して、ひよこぐみさんは、みんなで7人になりにぎやかになってきました。1人の子がベットの影にかくれて『いないいないばあ』を始めると、それを見ていた他の子も「ばあ」と言って大喜び。

又、引き出しのものを出したり、テーブルの上にあがったりのいたすらも、『楽しそうだな』と他の子もまねをしています。保育者とのかかわりだけでなく、いろいろな物や人、友達へと興味が広がり、簡単なやりとりができるようになってきています。

友達と目が合うだけでも『なんだか楽しい』同じことをするのが『楽しい』と感じてきている様です。そのちょっとしたかかわりに「一緒ね」「楽しいね」と保育士が言葉を添えながら楽しさをしっかり共有していきたいと思います。一番小さいIちゃんもお友達の楽しそうな声がする方にハイハイをして、じっと見ていたりしています。

今は、ハイハイの他に、つかまり立ちも上手になり、Iちゃんの見る世界も広がってきました。



りす組

目標

- ・「自分で」という思いを大切に見守り、自分でできる身の回りのことを、自分でできるようにする。
- ・言葉を使ったやり取りを楽しむ中で、自分の気持ちを相手に伝えていく。

りすぐみがスタートし、はや10ヶ月が過ぎようとしています。子どもたちには驚かされることばかり。昨日より今日、今日より明日と、ひとりひとりが、ひとりひとりのペースで成長しているのを感じます。

室内では、ブロックコーナーでブロックをつなげたり、組み立てている子。始めは「して。して。」と作ってもらおうとする事が殆どだったのに、今では、自分で工夫して作り上げています。お友だちが何かを作っていると、真似して作っている子もいます。ままごとコーナーでは、出すだけという事も多かったのですが、玩具をごちそうに見立てて、「はい、できました。」「これは〇〇です。たべてください。」と数人で集まり、やりとりする事も増えてきました。絵本の大好きな子どもたちは、「〇〇よんで!!」とお気に入りの絵本を読んで

欲しいことを伝えにきてくれます。園庭に出ると大きいクラスのお兄さん、お姉さんの遊んでいる姿を見つめ、真似しようとする子もいます。(とても魅力的で、刺激になっているようです。)今は、何でも「じぶんで。じぶんで。」と言ってみたり、「いやだ。」と言ってみたり、いろんな思いをぶつけてきてくれる事も多いですが、これからも、子どもの思いを大切にしながら伝えるべきことは伝えていきたいと思っています。



※お知らせ※

3月3日(水)に、ひよこ・りすぐみの保育参加を予定しています。

おゆうぎ会はありませので、保育参加で、子どもさんの姿を見ていただいたり、楽しんでいただけたらと思っています。

クラスだより



目標

- ・ *
 - ・ *
- * 簡単なごっこ遊びや集団遊びを友達や保育士と楽しむ。
 - * 自分から進んで身の回りのことをしようとする。

毎日寒い日が続きますが、うさぎ組の子どもたちは戸外遊びが大好きです。外にでるなり元気いっぱい走りまわる子どもたち！大人が寒いと感じていても、子どもたちは寒さなんてへっちゃらのようです。楽しみにしている散歩ではおみやげに持って帰るお茶の実を、根気よく集める姿があり「ほら！！」と得意気にみせてくれます。

お友だちとの関わりもよく見られるようになってきました。散歩に行くときは気の合うお友だちと手をつなぎ、楽しそうに会話しながら歩くかわいらしい姿みられます。室内ではお店やさんごっこや病院ごっこなど簡単なごっこ遊びをして楽しむ姿があります。保育士と一緒にお店やさん、お客さん、病院の先生など普段子どもたちが身近でよくみている姿を真似してなりきっています。「すみません。これください！」「おまかせしました〜」「注射うちますよ！」「痛かったらいってくださいね。」などと言っている姿がとてもかわいらしいです。時々、けんかをすることもあります。いろいろな遊びを通してお友だちとの関わり楽しさを伝えていけたらと思います。



おゆうぎ会に向けうさぎ組の子どもたちも頑張ってお練習しています。まだまだ緊張したり、恥ずかしかったりする姿もありますが、少しずつみんなで楽しんで取り組めるようになってきました。男の子の「ハッピージャムジャム」は元気いっぱい！女の子の「おとめのポリシー」はかわいらしく！といった感じの踊りになっています。当日は初めていく場所にいつも雰囲気もちがう中、不安もあり子どもたちもどんな姿になるかわかりませんが、お母さんやお父さんたちにみてもらうことを楽しみにしています。頑張る姿をあたたく見守ってあげてください。



クラスだより



目標

- * 遊びの中でイメージを膨らませ、自分の気持ちや考えを表現して楽しむ。
- * 寒さに負けず、戸外でいろいろな遊びに取り組む。

3 歳児

年もあけ、長い休みがおわりました。子どもたちは久しぶりに友達に会えたのが嬉しいようでした。「神社にいったよ!」「一緒やなあ」と話す姿がありました。また、保育園でもすごろくや福笑いをし、お正月を楽しみました。すごろくではサイコロの数字に興味があり、「これは?」と年中さん、年長さんに教えてもらいながらコマを進めていました。

今月は劇、ダンス、歌とお遊戯会の練習を頑張りました。劇、ダンスでは少しずつセリフや、振り付けを覚え、自信をもった顔にだんだんってきました。「明日もがんばらなあかなあ!」と毎日の練習を楽しみにしています。歌では、初めて楽器を使いリズムをたたきます。歌とリズムうちを同時にするのが難しく、はじめは小さな声でした。何度も練習し、大きな声で歌えるようになりました。

本番では緊張してしまうと思うので温かく見守っていただき、子どもたちの頑張った姿を見て欲しいと思います。一生懸命な子ども達の姿はとても可愛いのでお遊戯会を楽しみにしてください。



4 歳児



今お遊戯会の練習を中心に活動しています。自分たちが出たいのを選んで分かれて練習する事で細かい部分まで上達してきました。何よりも年少の子を気にする姿が多く、並ぶ時などは「〇〇君はここ」と優しく教えたり、年少の子が跳び箱を3段跳ぶと「すごい!跳べたな!」と自分の事のように喜び子がたくさんいます。相手の思いを知り自分の事のように喜ぶ姿が嬉しいです。またこの前の見せ合いではダンスの子も劇に出る子も緊張で顔がこわばる子もいて驚きました。昨年に比べ一つ大きくなってこういった場かがわかり集中して参加できるようになりました。本番ではたくさんの人に見てもらおうので緊張もすると思いますが楽しんで出来たらいいなと思います。温かく見守って下さい。

お昼からは年中さんだけの時間になり部屋やホールで好きな遊びをして楽しんでいます。子どもたちが好きな遊びはやはり外遊びで寒さにも負けず体を動かしています。仲間意識が深まればと思いい子どもたちとリレーをしました。中には足が速い子、ゆっくりな子もいます。でも子どもたちは自然と友だちを応援し、応援される事で最後まで走りきる大切さを感じています。また少し難しいルールドッジボールをしました。まだ数回しかしていないので大人がいないと進みませんが少しづつルールも覚えていけたらいいなと思います。後2ヶ月もしたら進級、卒園が待っています。進級する子はライオン組に憧れがもてるように、また卒園する子は友だちとの思い出作りができるように過ごしていきたいと思っています。

クラスだより



目標

- * お遊戯会では、皆と一緒に動くことや表現することを楽しみ、満足感を味わう。
- * 寒さに負けず、戸外でいろいろな遊びに進んで取り組む。

3歳児

まだまだ寒さが厳しいですが、子どもたちは元気いっぱいです。外遊びでは、リレーや大縄が人気です。最初の頃は、年長・年中さんがしている姿を近くで見ているだけだった子も「やりたい！！」と積極的に参加してくれるようになり嬉しく思います。

リレーでは、繰り返し参加することによって少しずつルールも理解できるようになってきました。また、次の子に速くバトンを渡そうと一生懸命走る姿はとても可愛らしいです。大縄では、連続8回も跳べるようになった子もでてきました。「もっとしたい！！」と跳べるようになったことが自信に繋がっているようです。

今月は、2月にあるお遊戯会に向けての練習を中心に取り組んできました。初めの頃はセリフをなかなか覚えられなかったり、踊り方が分からず戸惑っていたりした子もいましたが、練習を重ねるうちに上手になり自信を持ってできるようになってきました。先日、うさぎ組・トトロ組とダンス・劇の見せ合いっこがありました。他のクラスの友達にみてもらうということで少し緊張した様子でしたが、劇では大きな声でセリフを合わせて言ったりダンスでは腕をしっかり伸ばしリズムに合わせて踊ったりとどの子もとても上手にできました。

また、他のクラスの劇やダンスをみて「上手やった！」「すごい！！」と他のクラスの良い所を見付け自分達ももっと頑張ろうという気持ちになったようです。お互いに見せ合うことは子どもたちにとってとても良い刺激になりました。お遊戯会当日は、大きな舞台・たくさんのお客さんを前に緊張すると思いますが楽しく笑顔でできたらいいなと思います。一生懸命頑張りますのでどうぞ温かく見守ってあげてください。また、頑張った姿を認めいっぱい褒めてあげてください。



4歳児

新年が明け4日から保育園が始まりました。お友達と久しぶりに会えると、とても嬉しそうな子ども達。冬休み中の事を聞くと、沢山話してくれました。「遠いおじいちゃん、おばあちゃんの所へ会いに行ったよ。」「除夜の鐘をつきにいったよ。」「お餅を沢山食べたよ。」など、どの子も楽しい、いろんな経験をしたんだなあと思いました。

7日から、本格的にお遊戯会の練習が始まりました。冬休みがあったので、ももたろうの劇に出る子は「セリフを覚えているかな？」ダンスの子は「振り付けを覚えているかな？」と少し心配でしたが、ほとんどの子が覚えていて「子どもって凄いな」と改めて感じました。ホールでの練習も日を重ねる度に上手くなり、子ども達の言葉やダンスの振り付けにも自信がついてきました。「頑張ろう！！」と言うやる気が私達にも伝わってきます。当日はホールよりも広い場所で劇やダンス、歌を唄うのでとても緊張すると思いますが、保育士も子ども達も楽しく笑顔でやりたいと思っていますので、楽しみにしててください。

19日には節分に向けて、鬼のお面作りを始めました。鬼の顔の色は青、赤、みどり、赤の4色の中で好きな色を塗りました。ハサミを使える子は、自分で目や口を切って作りました。一つひとつどれも個性があり、素敵な作品になりました。節分の日には、子ども達と“自分の中にいる鬼”を退治したいと思います。

今月も「手洗い、うがい」を心がけ、元気に過ごしていきたいと思います。

クラスだより



目標

- * 仲間と共通の目的を持って取り組み、達成した喜びを味わう。
- * 冬の自然に触れながら友達と心ゆくまで遊び、つながりを深める。

今月はお遊戯会に向けての取り組みが多い月でした。

お遊戯会の大きな舞台に出るのも、多い子で4回目です。今年は子どもたちだけでなく、保護者の方々も今までとは違った気持ちで本番を迎えることと思います。

練習を見ていると、「こんなこと数年前は出来なかったのになあ」ということを年長さんになり立派にこなす姿を見たり、それぞれの場で、年下を引っ張っていかうと真剣な眼差しで練習に取り組む姿を見ます。練習を重ねていくたびに、子どもたちから成長した姿がたくさん見られ、とても嬉しく思っています。

年長さんは最後の思い出作りとして、活躍の場を増やしてあげたいという保育士の思いから、出たい子は2つ出しています。

年少・年中よりも一番経験回数が多いとはいえ、やはり大きな舞台ではドキドキと緊張すると思います。でも、練習ではみんな一人ひとりほんとはよく頑張ってくれています。まだ数年しか生きていない子どもたちが、最年長として頑張っていたんだということを、保護者の方に知ってほしいと思います。「がんばれ、がんばれ」と言いすぎず、温かく見守ってあげてほしいと思います。

2月10日、初めから終わりまで劇・ダンス・歌唱・・・とたくさんの活躍の場がありますので、どうぞ楽しみにしててください。また、お遊戯会に向けてお家の方で用意していただくものもあるかと思いますが、ご協力の方をお願いします。

寒くても外遊びが大好きな子どもたちです。外遊びでは最近ドッジボールやリレーに年少・年中さんが加わるようになり、異年齢で遊ぶ姿を多く見るようになりました。遊んでいく中で「リレーでは〇君が速い!」「ドッジは〇君が強い!」と年下から憧れの眼差しで見られています。集団遊びでは人間関係を深めるものこととして、とても良い場だと思えます。異年齢のかかわりの中で、こうした刺激が見られるのはとても良いことだと思い、今後もたくさん遊んでいけたらと思っています。

